



shokobo



shokobo



shokobo



もくじ

学 生 氏 名	学 校 名	作 品 名	
二村 望未	名古屋モード学園	木漏れ日	
岡崎 仁美	名古屋学芸大学	樹木	
高橋 萌子	名古屋ファッションビューティー専門学校	幸せの青い鳥	
萩原 千春	川島テキスタイルスクール	偶然と作為	
満仲 明日香	名古屋デザイナー学院	キンモクセイ	
世古口 友里	中部ファッション専門学校	Draw	
西岡 恵里奈	名古屋芸術大学	落書き	
吉見 麻衣	エスモード・ジャポン京都校	Ice cream	
安達 春香	名古屋モード学園	笑顔の連鎖	
小島 聡一郎	名古屋芸術大学	Look at me	
久野 歩美	愛知文化服装専門学校	Lost Ocean	
山田 希美	エスモード・ジャポン京都校	自然体	
新美 姫歌	名古屋ファッションビューティー専門学校	jerry fish	
伊藤 るみ	名古屋ファッション専門学校	fossil 化石層	
大森 南奈	横浜美術大学	Break	
寺田 絵美	中部ファッション専門学校	Kiriko	
西垣 美和子	岐阜市立女子短期大学	万華鏡	
浅井 菜月	名古屋学芸大学	雨	
林 載憲	文化ファッション大学院大学	迷彩柄羽毛ニット	
谷 歩美果	川島テキスタイルスクール	MID NIGHT IN PARIS	
湯浅 隼希	文化ファッション大学院大学	たそがれ	
山手 隆一郎	広島市立大学	Score	
平井 文佳	愛知文化服装専門学校	花火	
奥村 香音	岐阜市立女子短期大学	Stone	
里見 和音	岐阜市立女子短期大学	Strong Woman	

TITLE

木漏れ日

F.S



B.S

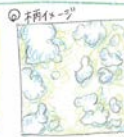


IMAGE

木漏れ日

森など木立から太陽の
目差しが漏れる光景を「木漏れ日」と言います。

自然を愛する繊細な日本人が誇るべき「木漏れ日」という言葉。英語には該当する言葉がないと言われています。



ブルーやグリーン、ホワイトの色を「木漏れ日」の雰囲気に合わせて表現しています。



■当初のイメージと製作した素材との比較

イメージマップに柄イメージを描いていたのですが、その描いたイメージととても近い素材が出来てとても嬉しく思っています。木漏れ日が木を通して地面に映っているというイメージの素材が製作できてとても感動しました。

TEXTILE



●協力／(株)ソー、遠山紡績(株) (順不同)

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

糸や混率のこと、素材名など知らなかったことも沢山あり、とても勉強になりました。糸の色合いを選ぶことなども少しの色の違いや、素材感の違いで印象が変わるということが改めて分かりました。

▷ ZOOM

Si27%、C24%、Bb24%、Li24%、N1%



TITLE
樹 木

F.S



B.S



■製作にあたって

私たちは樹木に支えられ、癒やされながら生きています。樹木は豊富な生命力、生命力の象徴となりました。樹木の素晴らしいエネルギーからインスピレーションを受け、樹木の美しさや大きさを生地に落とし込みたいと考えデザインしました。季節は秋冬にしました。糸は毛足の長いモヘアを使用し、糸を織った後にカットングします。繊維をわざと出すことで樹木の葉がふさふさと風に揺られる様子を表現したいです。また、幹の表面はぼこぼこ凹凸が見られます。糸の番手や毛糸の太さを変えることで表現し、面白さを出したいと考えています。色に深みがある糸を使用し、人を包み込んでくれるような優しくあたたかい樹木の生地を生み出したいです。

IMAGE

●イメージ●

森林、木々、地層、
大樹、自然

●素材●

←
モヘア毛足の長い繊維モヘアを使用
織った後に繊維をカットする。

■当初のイメージと製作した素材との比較

当初のイメージより、表現豊かな素晴らしいテキスタイルに仕上がりました。今回、メインの生地を引き立たせる為、当初の予定から変更し、メインの生地と黒無地の生地、2種類の生地を製作させて頂きました。メインの生地は3色のボーダー柄にし、配列を変えていくことで個性のあるテキスタイルに仕上がりました。また、素材にこだわり毛足の長いキッドモヘアを使用し、木々のふさふさとしたやわらかな風合いをシャギー仕上で表現しました。黒無地の生地はクリア仕上を施し、上質な素材に仕上がっており、大変満足しています。

TEXTILE ①

①W41%, Moh40%, N19%



●協力/ (株)KANDA、(株)ソー、東和毛織(株)、(有)四葉織房
(順不同)

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

自分のイメージを人に伝えることの難しさを学び、どうしたら伝えられるか考えました。一宮の工場見学をさせて頂いた際は実際に自分の目で多種多様なテキスタイルを見て、織機に触れ大変勉強になりました。そして、仕上加工を施した前と後でテキスタイルは新たに生まれ変わり、生地から布地へなる技術は素晴らしいものだと感じました。

TEXTILE ②

②W100%



TITLE

幸せの青い鳥

F.S



B.S



IMAGE



■当初のイメージと製作した素材との比較

当初は「シャープでカッコいい青い鳥」をイメージした素材を作りたいと思っていました。ですが、匠の先生と打ち合わせをしていく中で、デザイン画のイメージも素材に表現してみたらよいのではないかと。言うことで経糸に鮮やかな青糸、緯糸に淡いベージュをいれたところ、「柔らかなレディブルーバード」な素材に仕上がりました。

TEXTILE



●協力／一陽染工(株)、宏進毛織(株)、東亜紡織(株)、
(有)ビート企画、ワコトク染(株) (順不同)

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

翔工房を通して学んだことはたくさんありますが、特に勉強になったのは朱子織組織でもしっかりと柄が表現できるということです。織柄で柄表現と言えばジャガードのイメージでしたが、表は経朱子、裏は緯朱子というように織組織の組み合わせでイメージに近い柄表現ができることにびっくりしました。



ZOOM

Pe70%、W30%



TITLE

偶然と作為

F.S



B.S



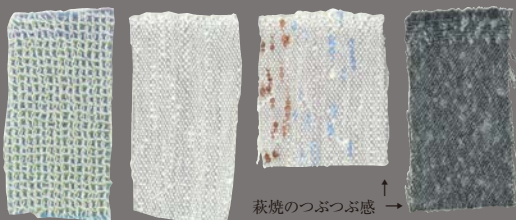
■製作にあたって

昔から「一樂二萩三唐津」と言われるように茶陶の中心にあった萩焼。土の風合いを生かした素朴な作風のものが多く絵付などの装飾はほとんどなく、独特の柔らかな風合いがあり、その萩焼には“偶然の美”が存在するように思います。釉薬のかけ具合、貫入と呼ばれるひび割れ、ヘラ目・刷毛目など偶然と作為が織りなす“偶然の美”をファブリックで表現したいと考えています。経糸をムラ染めし、緯糸は主に白を使用し、凹凸のある糸を部分的に染めて織り込み萩焼のぶつぶつ感を出したいです。他にも毛足の長いウール、なめらかなレーヨン・シルクと一緒に織り込むことで釉薬や萩焼のもつ独特なつや感などを表現したいと思っています。また横縞の部分は太細のある糸などでヘラ目や刷毛目を思わせる横縞にしたいと考えています。萩焼のような素朴の中に凛とした美しさをもつ服を作りたいです。

IMAGE



テクスチャー
イメージ



生地厚みや柔らかさは、このくらいにしたい。

色のイメージ

ループモヘアなど表情のある糸を織り込むことで表現できるのではないかと思います。

■当初のイメージと製作した素材との比較

萩焼の質感や糸の出方などはイメージに近いものに仕上がりました。ただ全体的にもう少し色を濃くすれば良かったと思いました。

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

緯糸に紺糸を使う時、色が出すぎず、出なさすぎずというふうに織っていくのは難しいということが分かり、講師の方に苦労をかけました。自分の頭の中にあるイメージをより相手に分かりやすく伝えるということは、本当に大変なことだと改めて実感しました。

TEXTILE



ZOOM

W99%、N1%



●協力／鶴岡毛織、大倉染工、茶仙染工(株)、東和毛織(株)
(順不同)

TITLE

キンモクセイ

F.S



B.S



■製作にあたって

秋に小さなオレンジ色の花を無数に咲かせる“キンモクセイ”をイメージした素材です。緑色とオレンジ色の糸をメインに使用します。花に光が当たっている部分と当たっていない部分を表現するため、花のオレンジ色は数種類使用したいです。冬のスーツを製作するので厚めで、そこに実際に花が咲いているように凹凸をつけ立体感が出せたらと思います。

IMAGE



↑ 立体感のある素材に
← したいです。

■当初のイメージと製作した素材との比較

当初は、キンモクセイの花を柄としてそのまま落とし込もうと考えていたので完成したものはそれより抽象的にキンモクセイを表現したものになりました。色合いはイメージ通りです。

TEXTILE



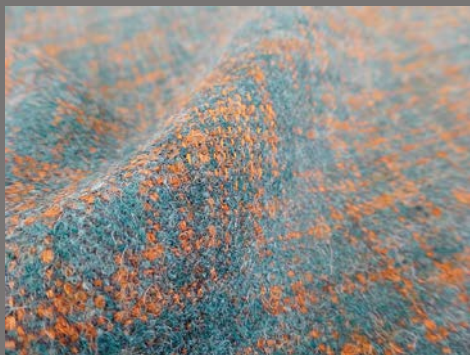
●協力／一陽染工(株)、宏進毛織(株)、東亜紡織(株)、
(有)ビート企画、ワコトク染(株) (順不同)

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

自分が考えたデザインが、匠講師の水谷さんの力をお借りするとまた違ったものになるのがとても面白いと感じました。色を決める時、色見本の色の種類が無数にあったので決めるのに苦労しました。

△ ZOOM

W84.7%、N15.3%



TITLE
Draw

F.S



■製作にあたって

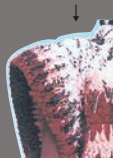
テーマは「Draw」です。キャンパスに様々な糸で絵の具を重ねたような表現をします。ベースの色味を白と黒とし、カラフルな糸で全体を覆うイメージです。絵の具を重ねた厚みやぼかした風合いを多種類のファンシーヤーンを用い、表現したいと思います。絵の具の光沢感や筆圧を表現するため、糸の太細や質感も大切にしたいです。絵の具の垂れた表現をしたので実際に糸を垂らしたいと思います。キャンパス部分は細い糸、シルバーなどの糸を混ぜ、絵の具に負けないように、光沢を出し、絵の具部分は筆圧の強さを表現したいので太い糸、細い糸のどちらも使用したいです。

IMAGE

B.S



ネックイメージ



テキスタイルイメージ



シルエット

裾のイメージ
横糸をほどいて表現

この生地は白より、フキリとファンシーヤーンを使用した。完成した生地は、ペイントを施したいです。

■当初のイメージと製作した素材との比較

イメージ通りに仕上がったと思います。風合いや肉感が特に上手くいったと感じました。結果、予定したシルエットが出せました。当初予定していなかったオレンジの緋を入れる事により、アクセントになって良かったです。

TEXTILE



●協力/㈱ソー、茶仙染工(株)、山内毛織工場 (順不同)

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

ウールの生地に対して、顔料と染料の乗り方の違いについて発見出来ました。苦労した点は、自分の考えたデザインを相手に伝えるという事が非常に難しかったです。

ZOOM

W100%

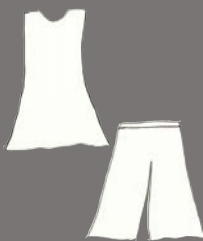


TITLE
落書き

F.S



B.S



IMAGE



壁のイメージ

■当初のイメージと製作した素材との比較

布地はでこぼこしたクロス壁を希望通り織って頂きとても感謝しております。落書きの部分はミーティングを重ねた結果実際に子どもに描いてもらうことになりました。その上から手刺繍を取り入れ凹凸を持たせました。優しくて元気溢れるテキストルとなり、初めのイメージは変わりましたが満足するものを制作することが出来ました。

TEXTILE



●協力／(有)アルドレー、(株)ソトー（順不同）

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

白いクロス壁なのに青みのある糸を取り入れた方がよりクロス壁のようになることを知りました。布を織るだけでなく、子どもに描いてもらわなければいけなかった為、想像よりも制作の日数が多くなり、苦労しましたが出来上がりは満足したものとなりました。

ZOOM

C57%、R43%



TITLE

Ice cream

F.S



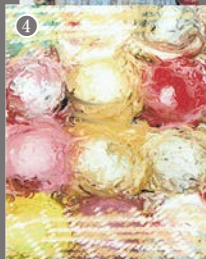
■製作にあたって

④のプリント柄は元々アイスクリームの画像をフォトショップで加工してデザインした。ツイードのイメージ画像3つのように、織る糸は太いのと細いのを混合して①の画像ぐらい様々な糸を混ざる。④のプリント柄の少しモジャモジャした毛皮があるようなところは②のイメージ画像の粗めな織り具合を使用する。糸の太さや種類、織り方を混合させてアイスクリームが少し立体に見えるようにする。また、アイスクリームの形(丸い)ははっきりではなくうっすらぼんやりと表現する。尾州産地は糸から織り物までに至る前工程がトップレベルで普通のノーマルなツイードではなく糸からこだわってたくさんの様々な糸を混ぜてオリジナリティのある上質なツイードを製作する。また、化学繊維と動物繊維を組み合わせ、複雑な織り組織でプリント柄を落としこんでいく。(フリンジを製作する。)

B.S



IMAGE



3つのイメージ画像を混ぜて右下のプリント柄のように仕上げる。

①プリント柄
大きなドット柄とツイードの荒い織りをイメージ。
※カラーはデザイン画を参考

■当初のイメージと製作した素材との比較

デザイン画は色が多くカラフルにしていたため、まとまりがなくなっていたと思いますが、講師からのアドバイスで「白」をメインにしたため、カラフルだけど、まとまりができたと思います。糸がもっと太いと思っていたので織り目がもう少し粗いと思っていたのですが、細かめの織りだったので、可愛いイメージが強くなり良いなと思いました。アイスクリームの種類がたくさんあるように、色が多くて織り目も細かくて、ぴったりだと思います。

TEXTILE ①

W85%、An7.5%、N7.5%



●協力／鶴岡毛織、大倉染工、茶仙染工(株)、渡彦毛織(資)

(順不同)

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

自分がどれだけツイードについて理解できていないのか改めて感じました。作る人間にしか分からないところがあり、ツイードは奥が深いと学びました。知識が少ないので、講師とのコミュニケーションがしつかりと出来ているのか不安だったし、私のイメージを伝えるのも苦労しました。もっとツイードについて勉強したいと思いました。

TEXTILE ②

②W85%、An7.5%、N7.5%



TITLE 笑顔の連鎖

F.S



B.S



■製作にあたって

テーマパークのショーで降ってくる紙吹雪やリボンをイメージして、生地の上にヒラヒラと素材感が出るようなものを作りたいです。ベースは、インド織物のように、カラフルなドット状に見える織りで、リボン部分はランダムに緯糸に通し、紙吹雪の部分は、織りの目の間から、細い布を出すイメージで考えています。カラーイメージは、メインイメージの写真のように、楽しくカラフルなカラー。デザイン画では、写真にある色を使っています。私の一番好きな場所、誰もが笑顔になる瞬間を素材で表現し、更なる“笑顔の連鎖”を生み出したいです。

IMAGE



テーマパークのショーのコンフェティのような、カラフルでごちゃっとしたイメージです。紙吹雪とリボンを表現したいです。

↑ このように表面に出ているイメージです。



異素材を組み合わせながら織る。



ベースの素材も、インド織物のようなカラフルなイメージです。

■当初のイメージと製作した素材との比較

当初は、素材の知識が乏しく、なんとなくのイメージしかなかったのですが、講師の水谷先生にアドバイスをいただき、しっかり形にすることができた上に、期待以上のものができました。

TEXTILE



●協力／小笠原(株)、(株)ノトー、茶仙染工(株)、山内毛織工場
(順不同)

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

イラストから素材へ再現するイメージで生じた再現率の差と、私から講師へイメージをお伝えする際に双方に生じたイメージの差が相俟って、再現率が下がってしまうことに苦労しました。私自身も、もっと素材の知識をつけるべきだと思いました。

▷ ZOOM

W94%、N4%、Pe2%



TITLE

Look at me

F.S



B.S



■製作にあたって

モチーフはカメレオンにしました。カメレオンは体の色を変え、草木、土に擬態し身を守るため、緑や茶色がイメージされる。だが中には色鮮やかな物もある。その色鮮やかさをマープルの糸で表現したい。又、皮膚の質感を出すためウールのネップやリングヤーンを使い更にカメレオン感を忠実に再現したい。カメレオンは住む土地によって色合いが異なるので経糸は固定で緯糸を違うマープルの糸を使うことで、違った色鮮やかさを表現する。モチーフのカメレオンは中でも色鮮やかで、ありとあらゆる色に変わり、威嚇したり、身を守る。それがシュールに思えるので、社会人として着る触り心地が滑らかなスーツの中にあって違った色とブツブツとした質感のスーツを着て溶け込むと言う理由でスーツを作りたいと思う。

IMAGE



カメレオンの皮膚



ガーメントのイメージ

糸と色のイメージ

■当初のイメージと製作した素材との比較

カメレオンの皮膚の質感や、配色のバランスがイメージ通りに出来上がり、本物のカメレオンのように仕上がった。

TEXTILE



●協力／大倉染工、戸崎織物、茶仙染工(株) (順不同)

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

当初はネップヤーンで皮膚の質感を表現しようと考えていたが質感が違っており、ネップスラブを使わないジャガード生地に移。想像上での色を選択するのが苦労した。

ZOOM

R51%, C49%



TITLE

Lost Ocean

F.S



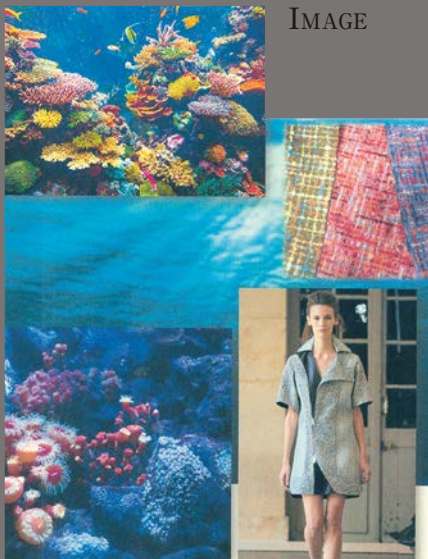
B.S



■製作にあたって

テーマはLost Ocean～海の楽園～です。今回は珊瑚礁に目を向けました。珊瑚礁は激しい波浪を止める天然の防波堤であり付近は波が穏やか。珊瑚の隙間は小さな生物達の隠れ場所に都合が良く、それらを捕食する大型動物も集まり生物多様性として重要な場所となり賑わっています。そんな海の中の音の無い空間とは対照に色鮮やかで賑やかな世界にインスピレーションを受けデザインしました。尾州産地のウールを生産する技術を学び、空気を含んだ暖かみのある作品にしていきたいと思っています。深い紺色に珊瑚や魚達をイメージしたパープルやライトグリーン、イエローなど色鮮やかな色を織り込む事で賑やかに。さらに泡を表現したいため、ラメやポリエステル、モールなどチラッと微かに輝く素材も取り入れたと思っています。

IMAGE



■当初のイメージと製作した素材との比較

当初は、格子柄にいろんな素材を織り込むといった、今思えばざっくりとした考えでしかなく、森さんと相談し実際に見て触ったりすることで理想を超えた仕上がりになりました。生地も格子バージョンと無地バージョンと仕上がり2種類は難しいと言われていたので嬉しいです。

TEXTILE



●協力／鶴岡毛織、(株)ノトー、遠山紡績(株) (順不同)

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

私の理想に近いとシャギーを選んだのは良いけれど、布が重くなってしまったり2種類どうするのか等、悩む事がたくさんあり頭がパンクしそうでした。シャギーは横のリングループを引っかけて毛足を出すので、それを活かし、格子の布と横の糸を地の色にした無地の布と分けることができました。



ZOOM

Moh50%、W40%、N10%



TITLE

自然体

F.S



■製作にあたって

自然の中で生まれ育った私には、日常生活(日用品)の中に自然を落とし込んだものづくりがしたい、という思いがあります。自然の綺麗なところ、汚れているありのままの自然を表現したいです。イメージマップ内の絵画はクロード・モネが亡くなるまで描き続けた「睡蓮」です。一見暗い印象を受けますが、その中には色鮮やかな部分も取り入れられています。このような表現を糸から全ての工程をされている尾州産地で「暗さの中にある繊細な色鮮やかさ」を表現したいです。そして産地の特徴である、意匠撚糸でさらに深みのあるものになりたいです。ジャガード織りで、イメージマップのような繊細さと、彩りを持つ生地を表現したいです。そのために、糸に深みのある繊細な緑を入れた後、鮮やかな色を取り入れる。といった方法で行いたいです。

B.S



IMAGE



■当初のイメージと製作した素材との比較

最初のイメージは、ぼんやりとしたもので、色合い風合いを打ち合わせしていくと、次第に明確になりました。その打ち合わせを基に製作していったのでギャップはありません。

TEXTILE



●協力／(株)ソー、尾泉染色(株)、渡彦毛織(資) (順不同)

■新たな発見や学んだ点、苦労した点

どうしたら、自分のイメージを伝えられるか。初め、自分の中でもぼんやりとしたものであったことが問題だったと思います。知識もない中で、更に知りたいと毎回思いました。



ZOOM

W69%、SI31%

